

平成 29 年度 教員免許状更新講習 シラバス

講習 番号	8	講習名	【選択】教育現場における情報活用と情報安全				
担当講師	開催地	時間数	主な受講対象者	受講人数	講習形式	試験方法	
佐々木 宣介 小川 仁士 宇野 健	広島 キャンパス	6 時間	中学校・高等学校教諭	40 人	講義	筆記	
開催日	7 月 2 2 日 (土)		予備日	8 月 5 日 (土)			
【到達目標】 ICT (情報通信技術) について、最近の動向を踏まえて教育現場で利活用する方法を理解する。							
【講習の概要】 本講座は、近年の ICT (情報通信技術) の進展に合わせ、これらの技術を教育現場において活用する方法や注意すべき事項について学ぶ。具体的には、(1) 情報機器やマルチメディア技術を教育に活用する方法、(2) インターネット、PC やスマートフォンなどの情報端末の利用の際に重要となる情報セキュリティや情報倫理について、教育現場を視野に入れた基本的事項を学ぶ、といった内容である。							
【講習の内容】 講義 1 : 情報機器の操作と教育現場における活用 (担当 : 小川 仁士) 本講義ではまず、中学校・高等学校における様々な授業において、情報機器を利活用することの意義と目的について整理し理解する。次に、授業への情報機器の利活用の現状について国内における事例を紹介し、利点や問題点について検証する。							
講義 2 : 授業へのマルチメディアの導入 (担当 : 宇野 健) 音声や画像などの様々なメディアを一元的に取り扱えるマルチメディアは、教育現場においても生徒の理解の促進や、授業中のモチベーション向上に大きな効果がある。この講義では、まずマルチメディアの特性について述べる。そして、Web や Flash, AR (拡張現実感) 等のマルチメディアコンテンツについて、その仕組みや、これらを用いた授業や、それに必要な準備等について、実演を交えて詳述する。							
講義 3 : 教育現場における情報セキュリティ (担当 : 佐々木 宣介) 教育現場への情報機器の普及に伴い、情報セキュリティや著作権の問題についても、情報機器の利用を前提とした配慮が必要となっている。この講義ではこれらの問題に関して、基本的な概念や授業に活用する上で知っておくべき内容について解説を行う。主に授業を提供する側の視点から、ICT を利活用する際に注意すべき情報セキュリティ上の問題および、各種コンテンツを利用する際の著作権の問題に関する内容について講義を行う。							
講義 4 : SNS 利用の実状と問題点 (担当 : 佐々木 宣介) 情報端末を用いてインターネットを使用する際には、現在では非常に多くのユーザが Facebook, Twitter, LINE などの SNS (ソーシャル・ネットワーク・サービス) を利用しており、情報収集やコミュニケーション手段として活用されている。一方で、さまざまな形で中高生がトラブルに巻き込まれる事例も起きている。これらのサービスを利用する際に起こりうるトラブルとその対策について、事例を交えて講義を行う。							
【備考】 試験の際には、講義で配布した資料、ノートの持ち込みを認めます。							